



大阪府 13年
連続黒字でも

府独自の少人数学級は無視 山梨県は小1を25人学級

大阪府・吉村府知事「少人数学級は市町村の責任」?

山梨県は2021年度から小学校1年で25人学級を実施、来年度には小2にも25人学級を拡大する予定としています。山梨県はすでに中3までの35人学級を実現、小1・2へは30人学級を実施していました。学習、生活でよりきめ細かな指導で、一人一人に向き合うとともに、子どもたちが活躍できる集団づくりを掲げて実施するものとなっています。

一方大阪府は、全国でも独自の少人数学級を実施しない数少ない府県となっています。

吉村知事は昨年府議会の答弁の中でも「少人数学級は市町村の責任で実施すべき」と発言しており、府独自の少人数学級は、一切実施する考えはありません。

じつは、大阪府もかつて少人数学級を実施!! 維新政治で解消!

大阪府は独自の少人数学級を平成16年2004年から4年かけて2007年には府下ですべての小1・2年で少人数学級を実施していました。2008年当選した維新の会を作った橋下知事が財政負担軽減のために廃止案を打ち出しましたが、PTAや校長会を含む反対が広がり、断念した経緯があります。

しかし、その後、維新府政の下で、民主党政権で計画された国の35人学級計画が2011年に小1、2012年の小学2年で実施されると、府独自の少人数予算を上位学年に拡大することなく、解消させてしまいました。(橋下・松井知事府政)

維新議員＝「学力向上」に効果がない!?

少人数学級は、人間らしく過ごせる子どもの「人権」

維新議員の中では、少人数学級について、「少人数学級は、学力の向上や人間力向上が目的」「その手段として少人数学級がある」として、効果がないとする調査結果をもとに、費用の掛かる少人数学級に否定的な主張を展開しています。

「経済発展のために」「格差を受け入れて、エリート育成を」公言してきた維新政治にとっては、当然の主張かもしれません。

しかし、とまらない不登校やいじめの増加をはじめ、今や少人数学級でゆとりの中で、一人一人が大切にされる少人数が急の実現は、学校の中で人間らしく過ごすための子どもの「人権」と言っても過言ではありません。

大阪府は13年連続実質黒字

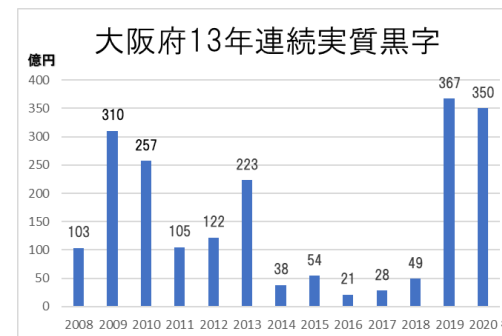
子どもや先生にとって「良いことしかない」少人数学級をなぜやらない

大阪府は維新政治のもと、公共施設や公務員、補助金を次々に削減し続けて、13年連続の実質収支黒字を続けています。

万博とカジノ IRには一体いくらになるのかも明確にならない財政負担を投入していく一方、府

民や子どもにとって切実な施策には一切目もくれようとしていません。

すべての子どもや府民に恩恵をもたらせる基盤的な予算は削減し、注目を集めやすい目玉政策、大企業にばかり手厚い政策が結果的に府民生活を破綻させてしまう。このような政策を転換させ、すべての子ども・教職員に恩恵が行き渡る少人数学級を大阪府でも実現させるために、力を合わせて声をあげていきましょう。



大阪万博、カジノ・IR ふくらむ府・市民負担、一体いくらかかるのか?

2020年12月 万博会場建設費 5割増加1850億円に、府、市で各600億円負担

2021年9月 万博関連インフラ 事業費4500億円、市は半額負担に

2021年12月 万博・夢洲駅周辺施設整備、民間応募なく市が30億円負担に

2021年12月 カジノ IR 予定地土壌汚染対策費で800億円公費負担に

2025年開催予定の大阪・関西万博に向けて、大企業と、維新の会の松井市長、吉村知事が強引に推進しています。

しかし、一体どれぐらいの事業費で、府市民負担がどれだけになるか、コロナ以前の計画で本当に期待される経済効果があるのかなどの疑問や根本的な問題は置き去りにされて、マスコミも含めて開催、推進に向けた条件作りが推し進められています。

上記のように、もともと事業総額が示されてこずに、近づくほど事業費、府市民負担額が次々上乗せされてきています。

コロナ禍の経済状況で応募企業が低調になり、夢洲駅前施設ではどこも応募がなく、万博の参加も目標にはまだほど遠い状況です。カジノ IRも次々と応募事業者が撤退して、1事業者のみの応募で決定されています。

府職員給与を削減し続け、教育、福祉、医療の削減と民間委託によって、府市民の税金と財産を、つぎ込み、終われば、ギャンブル依存の拡大と、莫大な事業費の負債を負わされる、そのような維新政治を転換させなければなりません。

「あなたたちが話しているのは、お金のことと経済発展がいつまでも続くというおとぎ話ばかり。恥ずかしくないんでしょうか!」 グレタ・トゥーンベリさんの言葉を思い出さずにいられません。

府議会は維新議員で独占!?! 議員定数削減案 議員定数削減案で、ほとんどが「小選挙区」に

府議会の過半数を占める大阪維新の会は、全国最小の議員数を目指すと府議会議員の定数を88人から79人に削減する案を決め、年明けの議会に提出する方針です。

削減案なら府議会議員の選挙区53のうち36選挙区が1人区の小選挙区で、7割を占めることになり、大阪は維新によって思う通りの政治が行えることとなります。

地方自治は多様な意見、住民合意のための議会こそ必要です。党利党略で、住民の意見を無視して、維新議員の意見だけが通る議会にして、府民財産、府民税を大企業の利益につぎ込ませてはなりません。

新春・まなび庵

明日からすぐに使える!!

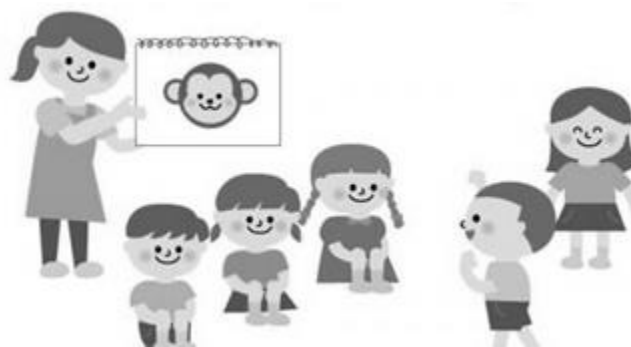
クラスレク・ミニゲーム講座

1月22日(土) 15:00~17:00

ラポール枚方研修室1(枚方市駅下車)

参加費300円

明日からすぐに使えるクラスレクや隙間の時間にできるミニゲームなどを教えてもらい実際にみんなと一緒に実践してみましょう♪また、参加者からの持ち寄りネタも交流できたらと思います。みんなでワイワイ楽しんで引き出しを増やしませんか。是非ご参加ください。



- どなたでも参加できます。
- 当日参加も歓迎。
- 小・中ともクラスづくり、レクレーション活動に

第33回

ZOOM 開催

青年フェスタ

2022年2月13日(日)

9:30~12:30

参加費無料

9:00~ ZOOM開始

9:20~ 開会

1 時間目	9:30	《算数(小学校・低)》 何森 真人 さん (岸和田市小学校/ 数学研究協議会) 小学1年生から小学3年生の内容についてわかって楽しい算数の授業のつくり方を紹介します。子どものつまずきに寄り添った授業をしませんか?	《国語》 文芸研枚方サークル 小学5年生の教材「大造じいさんとガン」と「詩の入門講座」の2本立てです!教材研究のヒントがたくさん見つかるはずですよ。	《時短 ICT》 箕輪 賢佑 さん (大障教) 明日から使えるICT教育を紹介します。パソコンの便利なテクニックやICT教育について学びましょう。	《明日からできる 職場改善》 (大教組 本部) 『うちの学校おかしくない?』ということ、放っておかないで!一人でも若手でもできる取り組みを伝えます。
	10:30				
2 時間目	10:40	《算数(小学校・高)》 何森 真人 さん (岸和田市小学校/ 数学研究協議会) 小学4年生から小学6年生の内容についてわかって楽しい算数の授業のつくり方を紹介します。子どものつまずきに寄り添った授業をしませんか?	《作文》 土佐 いく子 さん (元大阪市小学校/ なにわ作文の会) 話が聞けない、書くのが嫌い、クラスがまとまらない。その鍵は「言葉の力」。書く力・聞く力を育てる取り組みを具体的に話します。	《支援教育》 山林 哲 さん (大阪市小学校 障教部) 落ち着きがない、飛び出す...問題行動にはその子の“願い”が隠れています。成長と発達を保障する教育とは?	《センセイの 働き方改革》 (大教組 本部) 忙しすぎる...残業代も出ない...実は「仕事」と認められないことが多忙の原因かも!
	11:40				

全体会

11:50

・ミニ学習会「意外と知らない!? 賃金・権利・福利厚生」

渡邊 国和 さん(府高教 書記長)

・抽選会

12:30~閉会

《お問い合わせ・申し込み先》

事務局 大阪教職員組合(菱沼)
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11
大阪府教育会館内706号
Tel:06-6768-2330 Fax:06-6768-2239



タブレットやパソコンの方が操作しやすいのでおススメ!



申し込みは下の二次元コードから進んでください。申し込まれた方には、前日までに、当日入室していただくZOOMのURLと資料をメールでお送りします。

主催:第33回青年フェスタ実行委員会

後援:大阪教職員組合・同青年部